

東京都図書館協会報

No.98 平成30(2018)年8月

目次

平成29年度総会報告	1
平成30年度総会資料	3
お知らせ	5
平成29年度研究助成 研究中間報告	6

平成29年度総会報告

平成29年度東京都図書館協会総会は、平成29年8月29日（火）に東京都立中央図書館において、出席者は37名、委任状提出者は421名（定足数231名）で開催された。公益社団法人日本図書館協会理事長森茜様からご祝辞をいただいた後、議長に阪田蓉子氏を選出して、議事が進められた。

1 平成29・30年度東京都図書館協会役員

2 平成28年度事業及び決算報告

【事業報告】

(1) 会の運営

ア 総会

日 時：平成28年8月1日（月）

午後2時～午後3時

会 場：都立中央図書館

出席者：出席者36名、委任状提出者459名

イ 理事会

第1回 平成28年6月27日（月）

- ・平成28年度東京都図書館協会役員
- ・平成27年度事業報告
- ・平成27年度決算報告
- ・平成27年度会計監査報告
- ・平成28年度事業計画（案）
- ・平成28年度予算（案）

第2回 平成29年3月21日（火）

- ・平成29年度事業について ほか

(2) 事業

ア 講演会の開催

日 時：平成28年8月1日（月）

午後3時～午後4時30分

会 場：都立中央図書館

テーマ：図書館における国際力強化を考える

講 師：栗田 淳子 氏（独立行政法人国際
交流基金情報センターライブラリ
ー主任司書）

参加者：71名

イ 会報の発行 第96号（平成28年7月）

第96号別冊※（平成28年10月）

※別冊は、平成27年度講演会報告及び研究
助成中間報告、平成26年度研究助成最終
報告を掲載し、TLA ウェブサイトへの掲載
のみの発行とした。

ウ 研究助成 1 件

応募件数 0 件

エ 図書館見学会の実施

日 時：平成 29 年 1 月 19 日（木）

見学先：国立国会図書館国際子ども図書館

参加者：19 名

オ 共催・後援

<後援>

○第 102 回全国図書館大会東京大会

平成 28 年 10 月 16 日（日）

○第 18 回図書館総合展

平成 28 年 11 月 8 日（火）～10 日（木）

【平成 28 年度決算報告】

<収入>

交付金※ 389,494 円

※JLA 地域図書館団体活動費

会 費 8,000 円

雑収入 4 円

繰越金 364,379 円

計 761,877 円

<支出>

会議費 20,998 円

事業費 93,799 円

事務費 150,274 円

予備費 0 円

計 265,071 円

<翌年度繰越額>

収入済額 761,877 円

支出済額 265,071 円

差引翌年度繰越額 496,806 円

以上の平成 28 年度事業及び決算報告はすべて承認された。

3 平成 29 年度事業計画(案)及び予算(案)

【事業計画】

(1) 会の運営

ア 総 会：平成 29 年 8 月 29 日（火）

会 場：都立中央図書館

イ 理事会：年 2 回開催

(2) 事業

ア 講演会の開催 平成 29 年 8 月 29 日（火）

会 場：都立中央図書館

テーマ：図書館とは何か～校閲者から見えること～

講 師：柳下 恭平氏（榊鷗来堂 代表取締役社長）

イ 会報の発行

第 97 号（平成 29 年 8 月）

・平成 28 年度総会報告

・平成 29 年度総会資料

・平成 27 年度研究助成最終報告

※平成 29 年 6 月から、TLA ウェブサイトに「講演会 講演録」の項目を設け、講演会の講演内容を会員の参考に資するよう、分かりやすく発信することとしたため、別冊は発行せず。

ウ 研究助成

エ 図書館見学会の実施

オ 図書館の発展に寄与する事業について、共催・後援の依頼があった場合には、共催または後援名義を承認する。

【平成 29 年度予算】

<収入の部>

(単位：円)

科目	29 年度 予算額	28 年度 予算額	増△減	説 明
交付金	400,875	389,494	11,381	JLA 地域図書館団体活動費
会費	8,000	7,000	1,000	JLA 会員外の会費
雑収入	10	200	△190	預金利子
繰越金	496,806	364,379	132,427	
計	905,691	761,073	144,618	

<支出の部>

(単位：円)

科目	29 年度 予算額	28 年度 予算額	増△減	説 明
会議費	35,000	35,000	0	総会・理事会資料等
事業費	265,000	265,000	0	研究助成、謝礼、会報等
事務費	193,000	193,000	0	総会通知、郵送費等
予備費	412,691	268,073	144,618	
計	905,691	761,073	144,618	

以上の平成 29 年度事業計画及び予算は、原案どおり承認された。

平成 30 年度 総会資料

1 平成 30 年度東京都図書館協会役員（案）

2 平成 30 年度事業計画（案）

(1) 会の運営

ア 総 会

日 時：平成 30 年 8 月 29 日（水）

午後 2 時～午後 3 時

会 場：都立中央図書館

イ 理事会

第 1 回 平成 30 年 8 月 2 日（木）

- ・平成 30 年度東京都図書館協会役員
- ・平成 29 年度事業報告
- ・平成 29 年度決算報告
- ・会計監査報告
- ・平成 30 年度事業計画（案）
- ・平成 30 年度予算（案）
- ・収入科目の変更
- ・会則の改正（案）

第 2 回 平成 31 年 3 月（予定）

- ・平成 31 年度事業について ほか

(2) 事 業

ア 講演会の開催

日 時：平成 30 年 8 月 29 日（水）

午後 3 時～午後 4 時 30 分

会 場：都立中央図書館

テーマ：「図書館でことばを探究する」

講 師：飯間 宏明 氏（国語辞書編纂者・日本語学者）

イ 会報の発行

第 98 号（平成 30 年 8 月）

ウ 研究助成

- ・随時的な研究（1 件 10 万円を上限）
- ・継続的な研究（1 件 5 万円を上限）

エ 図書館見学会の実施

日 時：平成 30 年 1 月（予定）

見学先：未定

※12 月 1 日付（予定）で TLA ウェブサイトにて告知を行う。その他、JLA メールマガジン等を利用する。

オ 図書館の発展に寄与する事業について、共催・後援の依頼があった場合には、共催または後援名義を承認する。

3 平成 30 年度予算（案）

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

<収入の部>

(単位：円)

科 目	30 年度予算	29 年度予算	増 △減	説 明
会 費	2,000	8,000	△6,000	JLA 会員外の会費
その他収入	420,240	400,875	19,365	JLA 地域図書館団体活動費
雑収入	10	10	0	預金利子
繰越金	449,253	496,806	△47,553	
計	871,503	905,691	△34,188	

<支出の部>

(単位：円)

科 目	30 年度予算	29 年度予算	増 △減	説 明
会議費	35,000	35,000	0	
(1)総会費	22,000	22,000	0	総会開催通知、出欠はがき印刷
(2)役員会費	3,000	3,000	0	
(3)旅費	10,000	10,000	0	理事交通費
事業費	265,000	265,000	0	
(1)講演会費等	65,000	65,000	0	講師謝礼、テープ反訳等
(2)会報発行費	100,000	100,000	0	会報印刷
(3)研究会費	0	0	0	
(4)研究グループ助成費	100,000	100,000	0	随時的研究@100,000 継続的研究@50,000
(5)見学会費	0	0	0	
事務費	193,000	193,000	0	
(1)需用費	10,000	10,000	0	事務用消耗品
(2)通信運搬費	180,000	180,000	0	郵送費等
(3)職員	0	0	0	
(4)雑費	3,000	3,000	0	振込手数料等
予備費	378,503	412,691	△34,188	次年度総会費、会報発行費等繰り越す必要あり
計	871,503	905,691	△34,188	

4 収入科目の変更について

日本図書館協会から、公益法人化に伴い交付金等の取り扱いができなくなったことによる勘定科目変更の要請があったため、予算・収入の部の科目の「交付金」を「その他収入」に変更する。

5 会則改正（案）について

予算・収入の部の科目名の変更に伴い、該当部分の会則を改正する。合わせて文言整理として公益社団法人日本図書館協会の団体名等を改正する。

改 正 （案）	現 行
（会員） 第4条 この会の会員は、次の3種とする。 (1) 普通会員 <u>公益社団法人日本図書館協会</u>の東京地区個人会員及び、東京都内に在住若しくは在勤するもので、この会の趣旨に賛同する個人 (2) 特別会員 <u>公益社団法人日本図書館協会</u>の東京地区施設会員及び、東京都内に所在する図書館及び類縁機関・団体	（会員） 第4条 この会の会員は、次の3種とする。 (1) 普通会員 <u>日本図書館協会</u>の東京地区個人会員及び、東京都内に在住若しくは在勤するもので、この会の趣旨に賛同する個人 (2) 特別会員 <u>日本図書館協会</u>の東京地区施設会員及び、東京都内に所在する図書館及び類縁機関・団体
（入会申込） 第5条 この会に入会しようとする者は、事務局に申込み、登録を受けなければならない。但し、<u>公益社団法人日本図書館協会</u>会員については入会の申込みを必要としない。 2 特別会員については代表者を定め登録しなければならない。	（入会申込） 第5条 この会に入会しようとする者は、事務局に申込み、登録を受けなければならない。但し、<u>日本図書館協会</u>会員については入会の申込みを必要としない。 2 特別会員については代表者を定め登録せねばならない。
（他団体への加盟） 第19条 この会は、<u>公益社団法人</u>日本図書館協会に加盟し、同協会の加盟団体となる。	（他団体への加盟） 第19条 この会は、<u>社団法人</u>日本図書館協会に加盟し、同協会の加盟団体となる。
（経費） 第20条 この会の経費は、会費、寄付金及び<u>その他収入</u>をもって、これに充てる。	（経費） 第20条 この会の経費は、会費、寄付金及び<u>日本図書館協会</u>よりの交付金をもって、これに充てる。

東京都図書館協会（TLA）から = お知らせ =

◆講演会、見学会、研究助成の募集方法等◆

今年度の講演会、見学会、研究助成の詳細及び募集方法等につきましては、TLA ウェブサイト及び公益社団法人日本図書館協会のメールマガジンなどで随時お知らせいたします。

【日本図書館協会】 <https://www.jla.or.jp/default.aspx>

【東京都図書館協会】 <https://www.library.metro.tokyo.jp/tla/>

■TLA会員申込のご案内■

東京都図書館協会（TLA）では会員の申込を受付けております。まだ会員でない図書館の方々に、TLA 会員登録について、次のようにお知らせください。

日本図書館協会加入の東京地区会員については、自動的に TLA 会員として登録されます。それ以外の方で入会を希望される方は申込及び会費の納入が必要です。（年会費 500 円＝普通会員）

入会をご希望の方は、事務局までご連絡ください。 都立中央図書館内 TEL 03-3442-8451

■講演会講演録をウェブサイトに掲載■

平成 18 年以降の講演会の講演録を掲載していますので、ぜひご覧ください。

平成 29 年度研究助成 研究中間報告

研究テーマ：都立高校図書館ラーニングスキルガイドブックの作成および活用法研究

研究団体：東京都立高等学校学校司書会ラーニングスキルプロジェクトチーム

平成29年度研究助成として、(1) 随時的な研究（研究期間は最長2年間）、(2) 継続的な研究（研究期間制限は無し）の募集を行いました。平成29年度理事会において審査を行った結果、随時的な研究について1件の助成金を交付しています。

以下は、研究の中間報告です。

次期学習指導要領で重視されている「探究」に向け、都立高校図書館では探究型学習、教科横断型の学習への対応を進めている。東京都職員司書の研修団体である「東京都立高等学校学校司書会」では、今まで培った実践や研修を元に、全都立高校（中等教育学校、高校附属中学校含む）で活用できる、「ラーニングスキルガイド」（以下「ガイド」という。）の作成に取り組むことにした。平成 29 年 3 月、有志メンバーを募ってプロジェクトチームを立ち上げ、活動を開始した。

ガイドの利用対象は生徒とし、生徒が図書館を利用してレポートを作成する際のサポートとなるガイドブックを意図して校正及び編集にあたった。

都立には、進学重点校、専門学科、定時制など、様々なタイプの高校があるが、すべての学校で活用してもらうことを目的とした。そのためにまず、内容やレベル、対象者等のターゲットをどの辺に置くかについて検討した。普段あまり本に親しみのない生徒でもレポートを完成させられるよう、シリーズ「14 歳の世渡り術」（河出書房新社）のように基本的なことがらを読みやすく、分かりやすく記すこととした。ページの文字数はあまり詰め込まず、親しみやすい紙面をめざした。また、教員や学校司書が授業などで、必要なページだけをすぐにプリントして使えるよう、基本的に見開き 2 ページで内容が収まる形で編集した。

次にメンバーが各校で作成している授業支援・学習支援用のプリント類や、研修で学んだ様々な資料を持ち寄って検討し、必要な項目を挙げていった。生徒が実際にレポート作成の場面で図書館に来たことを想定し、構成を「テーマ設定」「学校図書館で調べる」「本で調べる」「インターネットで調べる」「情報メモをつくる」「レポートを書く」とし、分担して

原稿を執筆した。課題解決の順に沿った構成にし、つまづいた時に戻る場所も明示した。複写して使えるワークシートなど、実用的なガイドをめざした。

対象を都立高校生としたので、全都共通の学校図書館システムの検索法や、地域の図書館の利用法については、具体的に例を挙げて説明し、生徒がすぐに使えるようにした。

平成 30 年 3 月末に「都立高校の生徒のためのラーニングスキルガイド ～レポート作成編～ 試行版」が出来上がり、会員にデータ配付した。各校司書は、それをプリントして、4 月のオリエンテーションで使ったり、新年度から始まる各校の授業や課題研究などの探究学習で使ってもらおうよう、教員に働きかけたりしている。今後司書と教員が協働してガイドの活用実践を積み、その実践例を集める。それをもとに必要な手直しを加えて再編集し、今夏に冊子体のガイドとして発行する予定である。

完成したガイドは、全都立高校に配布するだけでなく、小中学校で参考にしていただけるよう、区市町村の教育委員会にも送付したい。また、各教科・活動の研究団体や図書館関係へも送付し、活用法についてご教示いただき、さらに研究を深めていければと考えている。

＜プロジェクトチーム・メンバー＞

（五十音順・所属は 29 年度末現在で省略表記）

石川緑（南多摩中等）、井津井麻子（農業）、
内田香里（広尾）、腰原涼子（豊多摩）、
齋藤玲子（白鷗）、杉山和芳（国分寺）、
宅間由美子（国際）、千田つばさ（小川）、
富森美穂（小金井北）、中上潤一（小石川中等）、
登淳子（竹早）、平井しのぶ（西）、
平井孝明（青山）、本間恵美（武蔵）

【宅間由美子 記】